

中学校・高等学校

中学・高校の6年間は、心身の成長とともに、個性や感性を磨く大切な時期です。国士館中学校・高等学校では、中高一貫教育システムにより、学力の向上だけでなく、「こころの教育」を重視。礼儀作法や倫理・道徳観などを身につけながら、社会生活に必要な「生きる力」を養います。

校長挨拶



国士館中学校・高等学校 校長
川野 一成

かわの・かずなり

1944年生まれ、福岡県出身。1966年国士館大学体育学部卒業

1966年国士館中学校・高等学校教諭として入職、高等学校柔道部を指導

1985年中学校柔道部を設立し監督となり、その後、中学校・高等学校柔道部総監督。その間、中学校・高等学校で幾多の全国制覇を遂げたほか、多くの一流アスリートを育て上げ、全日本選手権・世界選手権・オリンピックにおいて多数のメダリストを輩出

1992年高等学校体育連盟柔道部顧問

2002年国士館中学校・高等学校副校長を経て、2004年同校校長に就任、同年より学校法人国士館評議員

2007年国士館スポーツ振興会会長

2014年全国私立通信制高等学校協会会長、東京私立中学高等学校協会定時制通信制部会長

国士館中学校・高等学校は「読書・体験・反省」の三綱領を実践し「思索」することで「誠意・勤労・見識・気魄」の四徳目を涵養することを教育理念に掲げています。三綱領は今で言う「PDCA」(Plan Do Check Action)にあたります。国士館の創立者をはじめとする先人たちは1917年の創立時に、既にこの法則を取り入れていたのです。

中学・高校で過ごす6年間は、健全な心身を育むうえでとても大切な時期です。本校が一貫して取り組んでいる武道教育により、人としての振る舞いの基本、つまり、人に対する接し方や礼儀作法の習得、あるいは心身の鍛錬によって「生きる力」を養っていくことを目指しています。

また、経済状況や価値観が目まぐるしく変化する時代にあって、「自ら学ぶこと」「体験を重ねること」でゆるぎない自己の確立と柔軟な対応力が身につくものと考えています。高等学校においては多彩なコース制、豊富なカリキュラムを揃え、中学校においては基礎学力の向上と心の教育を重視したカリキュラムを編成し、バランスのとれた人間形成を重視した教育を行っています。

将来の方向性を見極め、自らの夢へアプローチする第一歩として、中学・高校での生活は重要です。本校で得た知識やさまざまな体験を通して人に対する思いやりの心を醸成し、「生きる力」として育むとともに、その力を未来に向けて進むための原動力とし、生徒自身が自らの適性を伸ばし、磨けるようサポートします。情熱がないところには何も生まれません。私たちは愛情と情熱を持って、生徒一人一人の能力を最大限に発揮できるよう環境を整えていきます。それが本校の使命であると考えています。

本校は平成25年に「国士館中部」創設から90周年を迎えました。また、3年後の平成29年には、学校法人国士館が創立100周年の佳節を迎えます。これまでの実績をふまえて、新たな出発点として更なる発展に向け教育活動に邁進する所存です。

中学校



基礎学力の向上と心の教育を 視野に入れたカリキュラム

人格や能力の基礎が養われる大切な中学校時代。本校では、中高一貫制によるゆとりある教育システムにより、生徒一人ひとりの個性と能力を伸ばすことができるよう、万全の体制で教育に取り組んでいます。カリキュラムは、基礎学力と情操教育を視野に入れて編成。中でも、武道や書道、道徳を授業に取り入れることで、礼儀作法や倫理・道徳観、協調性などの習得を目指しています。また、国際化社会に対応するための英語力養成にも重点をおいています。



高等学校



社会で活躍する人材の育成を目指す

高校の3年間は、希望する進路を見定め、その実現に向けての実力を養ううえで重要な発展期間となります。生徒一人ひとりの適性を伸ばし、育む教育を目指して学習指導と生活指導の充実を図っています。中学で培った基礎力をベースに学力・体力・精神力、そしてバランス感覚を備えた、「生きる力」を育みながら、それぞれの個性と可能性を引き出すことを重視。知識を詰め込むだけでなく、社会に貢献する人材の育成を目標に、自ら考え、伸ばしていける環境づくりを行っています。

■全日制課程 普通科

個性を引き出す多彩なコース制

生徒自身が自らの適性を伸ばし、目標を達成できるよう多彩なコース制、豊富なカリキュラムをそろえています。1年次には徹底して基礎力を養成し、2年次には文系・理系を含めた4つのコースから進路を選択します。いずれのコースにも、カリキュラムの中に人間教育の一環として武道(柔道・剣道)、芸術(音楽・美術・書道)を組み入れています。また、月曜日から金曜日の放課後にはより高い学習力の向上を図るための学習サポートの時間を設けています。

■定時制課程 普通科

通信制や大学の講義も受講可能な柔軟なシステム

午後1時始業の昼型3年制、週5日制、2学期制、単位制、クラス制を採用しています。英語を中心とした基礎学力の向上を重視し、通信制課程の授業が受けられる定通併修や国士館大学1・2年次の講義を受けられる高大連携など、柔軟性のあるシステムを取り入れています。

■通信制課程 普通科(AAコース・ICコース)

自分に合った選択が可能な2つのコース

4学期制、年4回の単位認定、74単位以上の修得が卒業条件となる単位制を採用。6週間のスクーリングを行うAAコース、毎学期スクーリングを1週間に集中させることで自由な時間をスポーツや芸能活動などに充てることのできるICコースの2種類のコースから選択でき、自分のペースで学ぶことが可能です。転入学の場合は、単位修得状況により前籍校の高校生と同年度に卒業することも可能です。